

不審者対応避難訓練&教職員防犯研修

担当

20年以上前に、不審者の侵入により大阪の小学校で多くの被害が出ました。ここ最近でも、学校に不審者が侵入し、被害が出たというニュースが報道されました。開かれた学校として、多くの人の出入りがある小学校ですので、安全については常日頃の備えがより必要となっています。

落合第五小学校では、毎年不審者対応訓練を行っています。今年度は、休み時間に正門から不審者が侵入してくる想定で行いました。職員は児童の安全を確保しながら、不審者（今回は戸塚警察署の方が演じました）の対応をしました。子どもたちにも伝えましたが、一番大事なのは、自分の命を守ること。落五小では、不審者侵入時の合言葉が決まっています。合言葉はお子様にお聞かせください。放送を聞いてから、自分でしっかり判断して行動できるようにするため、毎年の訓練を通して自助の力を付けるよう指導しています。

放課後には、警察の方にご指導いただきながら、不審者を取り押さえる方法や、非常時の対応の方法について学ぶ教職員対象の研修を行いました。研修の成果を生かす機会が訪れないことが一番ですが、万への備えを怠ることなく学校の安全を守っていきます。



算数ルームから

算数担当

3年生から6年生の算数の学習は、各学年の学級数プラス1の展開数で行っています。新しい単元の前にレディネステストを行い、その結果等をもとに学習集団を決めています。

算数科では、これまでに得た知識や経験を生かして、新しい問題を解決していく力を伸ばすことが大切です。

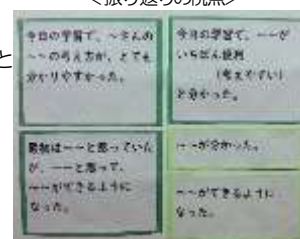
そのために、授業では以下のことを子供たちに伝えていきます。

- ①自分一人で問題を考える時間では、1つの方法で解決したうえで別な方法はないかと粘り強く考えること
- ②自分の考えをノートに書く際には、今までに学んだことを活用して順序立てて、友達にも分かりやすいように書くこと
- ③互いの考えを共有する際には、自分の考えと比較しながら聞き、相違点や表現のよさを見付けること
- ④問題解決に至らなくても、やってみようとする姿勢を大事にすること

今年度は特に、算数の授業の中で「わかった」「できた」を実感できるように、振り返りにも力を入れています。

児童が考えることの楽しさに気付けるように、今だけでなく、その先も見据えた指導をしてまいります。

<振り返りの視点>



6年生社会科見学

6年担任

9月30日（火）に、国会議事堂・皇居付近の社会科見学へ行きました。午前中は国会議事堂へ行きました。入口から緊張感漂う雰囲気の中で静かに見学をし、テレビで見たり、学習をしたものを実際に目にすることができ、嬉しそうな様子が見られました。皇居付近を通って、科学技術館へ歩いて向かいました。昼食を食べた後、科学技術館内をグループごとに見学しました。見たりさったり、からだ全体を使って体験しながら科学技術に興味をもって見学していました。



朝の登校時間について

生活指導主幹

『落五小まるわかりガイド』にも記載の通り、本校の登校時刻は**8時10分から8時20分**です。8時20分に着席をしていないと遅刻扱いになることを指導しています。

学校でも日頃から話していますが、ご家庭でも時間を意識して行動するようお声掛けをお願いします。